

耳の聞こえにくさを そのままにいませんか？

「聞こえにくさ」を感じると、他の人とのコミュニケーションを取りづらくなってしまいうため、人とのかかわりを避けたり、外出を控えがちになります。そのようなことが生活の質や認知機能に影響を与え、生活に支障をきたすことがあります。

- ・自信がなくなる
- ・家族や友人とのコミュニケーションがうまくいかなくなる
- ・認知機能に影響をもたらす可能性もある
- ・社会的に孤立しうつ状態に陥ることもある
- ・危険察知能力が低下する



聴力の低下は少しずつ進行するため自覚しにくいと言われています。
次の項目に当てはまる項目があれば一度受診してみませんか？
あなたの耳の状態をチェックしてみましょう。

- ☐ 話し声をはっきりと聞き取れず、聞き間違えたり聞き返したりすることがある
- ☐ 相手の言ったことを推測で判断することがある
- ☐ 話し声が大きいと言われる
- ☐ 家族からテレビやラジオの音量が大きいと指摘される
- ☐ 集会や会議など数人での会話がうまく聞き取れないことがある
- ☐ 後ろから呼びかけられると気づかないことがある
- ☐ 車の接近に全く気がつかないことがある
- ☐ 電子レンジの音やドアのチャイムの音が聞こえにくい
- ☐ 時計のアラームなど、高い音が聞き取りにくいと感じる
- ☐ 音の方向感がわかりにくくなる
- ☐ 耳が詰まったような感覚が抜けない
- ☐ 「ワーン」「キーン」などの音が耳で鳴っている状態が1日以上続く
- ☐ 音が割れたようにカシャカシャ聞こえる

